

# むらやま 議会だより



写真／6月議会初日 議場にて

## もくじ

- ◎6月定例会 ..... P 2～3
- ◎出資法人等の経営状況報告 ..... P 4
- ◎一般質問 ..... P 5～7
- ◎議会活動レポート ..... P 8～9
- ◎市民の声 ..... P10



←携帯からはコチラ



# 万円を追加

**6月  
定例会**

6月定例会は、本市が誇る東沢バラ公園バラまつりと同時期に開催されることもあり、市議会としてもバラまつり宣伝の一助と、より多くの市民の皆様から議会へ関心を持ってもらえるように、全議員と市長・副市長が生バラのコサージュを着けて議会に臨みました。「6月定例会=バラ議会」と広く認識されたいと考えています。

**令** 和4年第4回定例会は、6月3日から20日までの会期で開催され、条例2件、一般会計補正予算1件を原案どおり全会一致で可決しました。

## 条例等

◎村山市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例について

提案理由は、押印を求め行政手続きを見直し、手続きの簡素化及び効率化を図るためです。  
(全会一致で可決)

◎村山市税条例等の一部を改正する条例について

(1)住宅借入金等特別税額控除の延長等に伴う個人住民税の見直し  
(2)上場株式等の配当所得等に係る課税方式の見直し  
(3)個人住民税における合計所得金額に係る規定の整備  
以上の改正理由としては、地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うものです。  
(全会一致で可決)

## 審議結果報告

(6月定例会において賛否の分かれた議案等についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ										改革クラブ			無会派	賛成	反対		
			柴崎亮太	吉田創	細矢清隆	田中正信	矢萩浩次	高橋菜穂子	大山正弘	海老名幸司	石澤祐一	秋葉新一	高橋卯任	阿部正任	犬飼司	結城正			菊池貞好	中里芳之
請願 第2号 「消費税率5%以下への引き下げを求める意見書」を政府に送付することを求める請願書		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	6	9
請願 第3号 「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書		否	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	6	9

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

## 4月 臨時議会

### 一般会計予算総額

**9,480万円を追加、157億2,480万円**



「今こそ地元！」  
応援商品券 3

◎今こそ地元応援商品券事業  
市民全員に1人当たり3千円分の応援商品券を配布するものです。  
※75歳以上の高齢者及び生活保護受給世帯、平成16年4月2日以降生まれの市民には1人当たり3千円分上乗せして配布するものです。  
(全会一致で可決)

◎村山市市税条例の一部を改正する条例  
地方税法等の一部改正に伴う村山市税条例の一部改正措置について専決処分したものです。  
(全会一致で承認)

◎専決処分  
村山市市税条例の一部を改正する条例

# 2億5,471

# 総額159億7,951万円



コワーキングスペース  
(Link MURAYAMA)

**にぎわい創造活性化事業**  
700万円

Link MURAYAMAに、入居使用する企業などに対して、1補助対象者あたり100万円を上限として補助金を交付するものです。

**補正予算のポイント**  
市民会館管理運営費 850万円

市民会館大・小ホールの暖房用ボイラーを修繕するものです。

**食べて泊まって満喫プレミアム券事業**  
4172万円

7月23日から11月30日まで、市内での飲食や宿泊観光施設で使えるプレミアム券を4千組（うち市民優先枠を3千組）発行するものです。



フィットネスマシン  
(Link MURAYAMA)

**徳内ばやし振興等事業**  
145万円

徳内まつりの開催にあたり、感染予防および拡大防止するための消耗品などを補助するものです。

**在宅福祉事業 除雪扶助費**  
581万円

補助の対象を高齢者などの住民税非課税世帯から、均等割のみ課税の世帯も対象になります。

**新型コロナウイルスワクチン接種事業**  
5281万円

新型コロナウイルスに感染した場合の重症化予防を目的としたワクチンの4回目接種をするものです。4回目接種は対象者が限定されています。



3年ぶりに開催予定の徳内まつり

**低所得子育て世帯特別給付金給付事業**  
2304万円

対象世帯の児童1人当たり5万円支給するものです。村山市では令和4年度住民税均等割のみ課税の世帯も対象となります。

**駅西にぎわい交流拠点事業**  
102万円

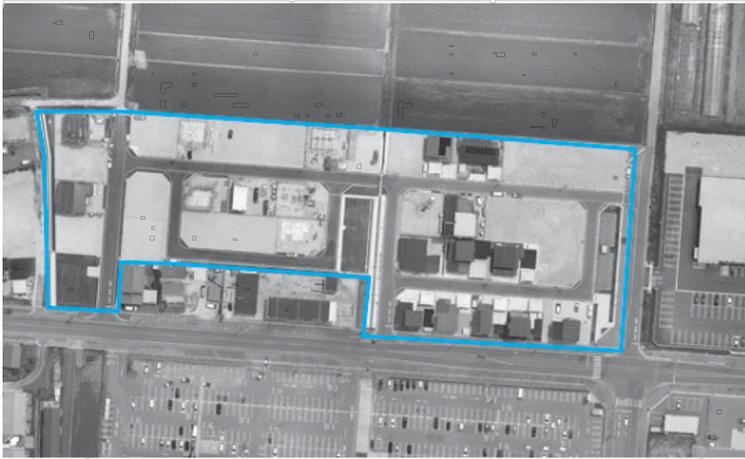
新「道の駅」の整備を進めるにあたり、基本計画策定のための調査検討および協議を行う市民会議を設置するものです。

# 出資法人等の経営状況報告

## 村山市土地開発公社

令和3年度は、前年度から着手した「S＊mile（スマイル）タウン新町（第2期）」17区画の完成にあわせ11月24日より予約販売を開始し、全てに申し込みがあり、6区画が契約済となっている。さらに隣接する「新町（第1期）」については、2区画の契約を行った。

「楯岡北町グリーンタウン」は残りの3区画全ての契約が完了し、全38区画が完成となった。このうち完成した住



建設が進む「S＊mile タウン新町」

宅2棟に対して新築支援補助金100万円を交付し、残り1区画は完成後（令和4年度）に補助金の交付を予定している。

決算については、当期純損失1664万円となり、前期繰越金3億6012万円を減額して整理を行った。

## 村山市余暇開発公社

新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2・3年度の決算で正味財産が300万円を切ることで、一般財団法人として事業が継続出来なくなったため、令和4年2月1日に事業を株式会社村山市余暇開発公社へ譲渡を行った。

令和3年度は本格的なコンサルティングに基づき、業務のスリム化と※マルチタスク、動線の見直しなどで人件費や経費を削減する改善を行った。クアハウス基点に隣接する「yamagataglam」の運営が本格化し、(株)古窯ホールディングスと村山市の契約が整い、災害時における協力体制と人材育成の強化を図ることとした。

※マルチタスク：1人が複数の仕事を同時進行すること。

## クアハウス基点

ブルガリア新体操オリンピックチームが最終キャンプを行い、団体戦では「金メダル」を獲得し、その話題で一気に注目を集めた。また、当館で長年合宿を実施した駿河台大学駅伝部が箱根駅伝初出場を果たし、合宿施設としての価値向上につながった。



クアハウスで合宿したブルガリア選手団

収入目標をコロナ禍前の65%としたが、原油高騰による燃料費の大幅な高騰と輸送費増による仕入れ価格高騰、電気代における燃料調

整額の上昇により経費がかさみ、収益改善には至っていない。

## 道の駅むらやま

コロナ禍により、利用人数の浮き沈みが激しく、利用客の動向が全く予想できない状況下の営業となった。3月からは感染症拡大も徐々に収まり、利用客が戻り、昨年度並みの売上げを計上できた。

令和3年度 村山市余暇開発公社の決算（一般財団法人・株式会社 合算）(単位:円)

区分・年度	令和3年度	令和2年度	増減
クアハウス基点	△28,067,382	△68,745,968	40,678,586
道の駅むらやま	△18,775,172	△15,384,026	△3,391,146
余暇開発公社共通経費等	△556,353	△421,564	△134,789
長期借入返済額	△32,327,778		△32,327,778
合計	△79,726,685	△84,551,558	4,824,873



利用客が戻り始めた道の駅

## 村山市スポーツ協会

生涯スポーツの推進事業、競技力向上を図る事業、加盟団体などの育成・連携を図る事業、少年スポーツの振興に関する事業、体育施設の管理運営に関する事業など多くの事業に協賛、運営している。

なお、令和3年度における法人全体の正味財産期末残高は、3248万円となり昨年度より55万円の減となった。



細矢 清隆

### 鳥獣（サギ・カワウ）の 早急な対策を望む

答弁 サギ100羽 カワウ200羽  
確認している

動画はこちら

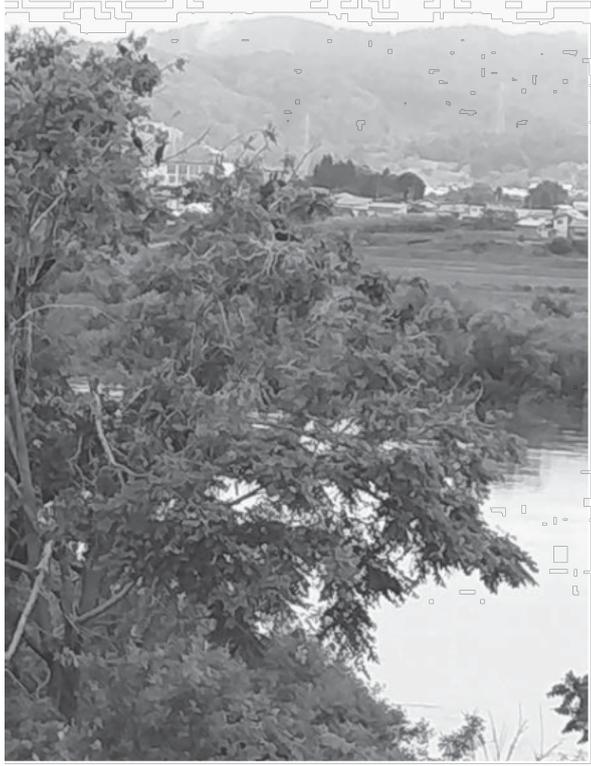


動画はこちら

Q 近年サギ、カワウが急増しており、これに伴いカエルや小魚などの小動物の減少、営巣によるフン被害などが発生している。市内のサギ、カワウの※コロニーの把握と具体的な対策について伺う。

A 現状、サギは河島山に100羽、カワウは200羽以上生息している。春に花火による追い払いを行った結果、カワウの半数が基点橋の上流右岸へ移動した。対策としては、令和2、3年は最上川第2漁業組合で防鳥テープを巢の近く

に張ったが、効果がなかった。令和4年は河島山の自治会が花火で追い払いを行った。移動したカワウに対して第2漁業組合で高所作業車による、巢の中の卵ヘドライアイスを入れて繁殖を抑える作業を行った。今後県内の水面漁業組合でカワウの生息状況の調査を行う。カワウの捕獲につ



カワウ移転後のコロニー

※コロニー：サギ、カワウなどの集団繁殖地

いては県の許可を受けて第2漁業組合で4月6月に銃による駆除を行う。サギについては沼や川に生息する時期があるので銃による駆除を計画している。

その他の質問  
・児童、生徒のトイレ利用（大便）について  
・公共施設等総合管理計画について



吉田 創

### 駅西開発はどのように 進めていくのか

答弁 村山市土地開発公社で  
造成していく

動画はこちら



動画はこちら

Q 駅西開発、新「道の駅」整備、南原集積地の工業団地整備は若者定住、雇用促進などに大きな影響を与え、村山市発展に重要な事業である。高速道路開通後のまちづくりについてどのような方針で進めていくのか。

A アクセス道路を整備し、市民に喜ばれるまちづくりを進めて行きたい。

Q 駅西開発はどのようなように進めていくのか。  
A 水田のままでは企業誘致が難しいため、ヤマザワ周辺を商業地として、村山市土地開発公社で造成し、企業を誘致していく。また、新「道の駅」予定地の西側は民間企業から打診が来ている。駅西開発の今後のスケジュールは。

A 6月下旬に土地開発公社臨時理事会を開催。次に、地権者などに事業説明会を開催し、同意を得れば、調査測量設計を実施予定。令和5年以降は測量設計成果をもとに開発行為申請、用地買収、造成工事を進めて行きたい。

Q 新「道の駅」開発のスケジュールは。

A 新「道の駅」市民会議を設立。令和4年度末から令和5年度にかけて公募型プロポーザルを実施し、業者決定後、基本計画を策定。令和6年度から用地買収、建設事業者の決定。建物の設計、建設。完成は令和8年度末予定。



今後開発が期待される駅西エリア

## 一般質問

6月7日、8日 6人の議員が一般質問を行いました。



阿部 正任

### 豪雪により危険空き家が 増えているが対策は

答弁 解体補助の増額などで  
対応する

動画はこちら



ある。

**Q** 危険空き家への解体補助上限100万円

**A** 今年度は当初予算で概ね10軒分の予算を計上しているが、今年度は申請件数が大

幅に増えた。

空き家問題は人口減少に伴う全国的なものとなっている。危険空き家解体補助金も申込み状況を見たらうえて、制度を拡充していきたい。

その他の質問

- ・消防改革について
- ・持続可能な環境衛生行政について

**Q** 空き家所有者への連絡、対処はどうか。所有者の分からない空き家はないのか。

**A** すべての空き家に対して、現地調査を行い所有者を把握し、適正管理の通知を出している。面会し、対応する場面もある。しかし、昨年度末で所有者不明の空き家が、55軒



空き家屋根の飛散防止作業をする近隣住民



田中 正信

### 税の滞納状況について伺う

答弁 滞納額の回収に  
引き続き努力する

動画はこちら



き回収に向け取り組む。

**Q** 国保税の悪質滞納者については、法律によって保険証の返還を求めることができ

**A** 令和3年は1件で  
ある。

令和3年は1件で

その他の質問

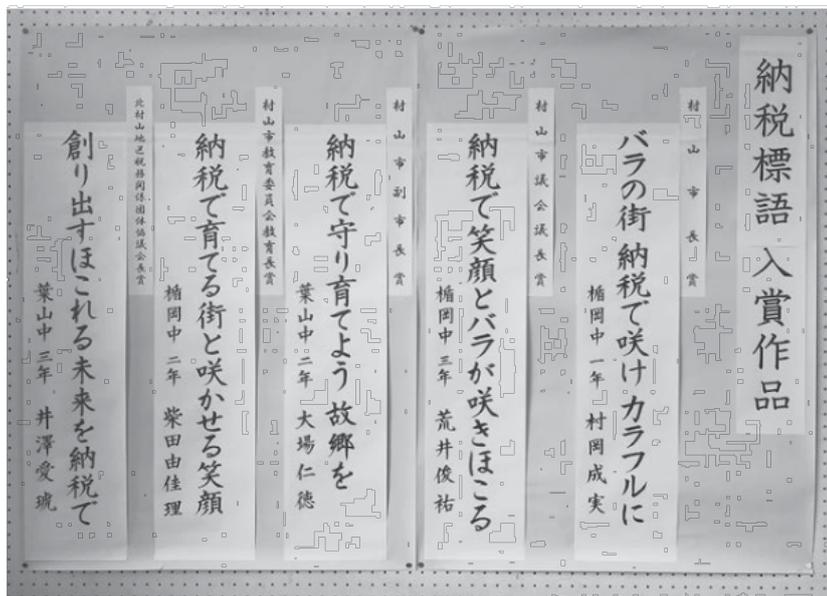
- ・若者の地元定着について
- ・「人生100年時代」を見据えた優しい社会を

**Q** 悪質な滞納者については、財産の差し押さえなど強制徴収手続きを定めているが件数・金額はいくらか

**A** 令和3年度の実績は、67件で約320万円である。引き続

**Q** 租税は地方自治を支える根幹である。課税した税金は必ず納めてもらうという姿勢で

**A** 近年の収納率は99・2%台で推移しており、県内13市では上位である。また、滞納額の合計は約1億5千万円となっている。滞納額は減少傾向にあるが、引き続き滞納額・滞納者数の減少に努めていく。



村山市の中学生「納税標語 入賞作品」



中里 芳之

### 物価高騰対策を

答弁 国、県の動向を

見ながら検討する

動画はこちら



**Q** 物価高騰による公共工事や農工商、学校給食への影響と対策は。

**A** 資材の価格上昇や資材の納期遅れが発生している。適切な工事価格の設定に努め、工期や発注時期も業者に配慮する。JAでは秋使用予定肥料を過去最大25%、94%の値上げを予定している。市内企業は価格転嫁を発注側に受け入れてもらえていない。国、県、近隣市町村の動向を注視し、必要に応じて適切な対策を講じる。国の臨時交付金があるのであれば（事業者支援について）検討したい。学校給食については管理栄養士がメニューを工夫しており、今のところ給食の質的低下はないが、今後の食材高騰でメニューが担保で

きないことも予想される。国の臨時交付金を利用し、補助を実施したい。

**Q** 積雪時の指定緊急避難場所の考え方と除雪の実態は。

**A** 積雪時は指定緊急避難場所ではなく指定避難所に行っても

らう。除雪は地域に任せている。

**Q** 自治公民館は指定避難場所として冬季も利用するのが現実的だ。要望があつたら除雪支援の検討を。

**A** 個別の相談は受ける。



暮らしを圧迫する物価高騰



大山 正弘

### (株)余暇開発公社移行後は

答弁 更なる経営改善と

営業努力をしている

動画はこちら



**Q** 株式会社への移行後の状況は。

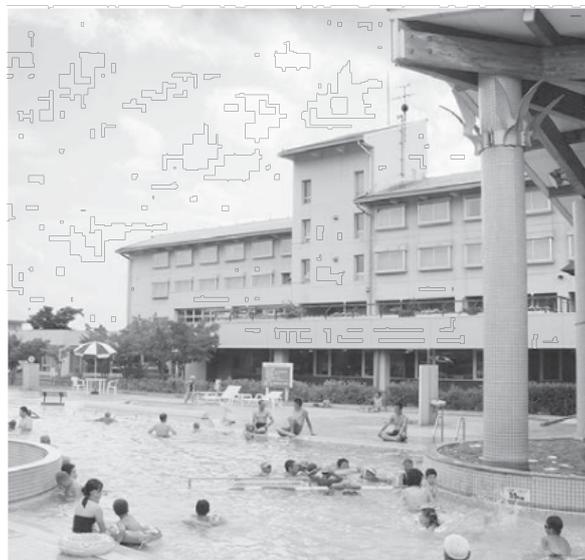
**A** 移行時の課題として、新型コロナウイルス蔓延により飲食や宿泊、観光業が非常に厳しい状況が続く中で「多額の借入金や従業員を全て引き継ぐこと」を前提に営業譲渡を受けてくれる民間の法人が居ないという事が一番の課題であった。現在の状況は、財団法人の清算も全て完了し、株式会社に移った。社員一丸となって知恵を出し合い、クアハウス基点、道の駅むらやまの経営改善と営業努力を続けている。

**Q** クアハウス基点、道の駅むらやまの経営の赤字化の原因は。

**A** 新型コロナウイルスの蔓延による経営不振が極めて大きい。従業員が、それぞれの

立場で精一杯努力しており、原因を追求することは出来ないと考え。あえて申し上げれば、以下の3点があげられる。

- ①クアハウス基点は開業後40年が経過し、施設の老朽化する時期と開業時に採用した職員の人件費が最大となる時期が重なったこと。
- ②クアハウス基点は、
- ③道の駅むらやまの収益は3千万円の赤字を出していたが、コロナ禍の影響から、この収益が公社として見込めなくなったこと。



(株) 余暇開発公社クアハウス基点の新しい旅立ち

## 一般質問

※一般質問のQ&Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。

総務文教常任委員会  
管内視察

●5月16日

村山広域水道西川浄水場

自然に恵まれた月山や朝日連峰から流れてくる水は、一旦寒河江ダムに貯められ、1年をとおして安定した水量で寒河江川に放流されます。県営村山広域水道は、寒河江川から取水し、西川浄水場できれいにした良質な水道水が本市を含め、村山地域の6市6町の配水池まで安定して送られます。西川浄水場から送られた水道水は、水道管を通して各家庭や事業所に送られます。

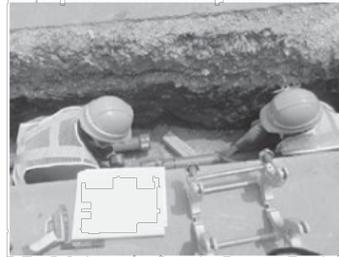


浄水場から6市6町へ送水される水道橋

大久保地区水道管新設現場

浄水場から送られた水を事業所や家庭へ結ぶ水道管工事現場を視察しました。

水は私たちが生活していくうえで、なくてはならない大切な命の源です。



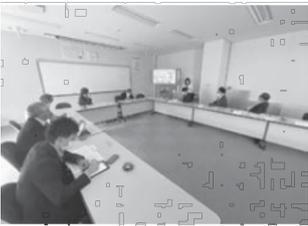
市内の水道管新設工事

●6月14日

楯岡中学校

健康づくり推進優秀校受賞を受け、その取り組みや、タブレットの使用状況などの視察を行いました。

全学年の授業の見学を行い、1年生においては、全員が基本的なパソコンへの打ち込み操作を習得している様子。3年生では先日行くことができた修学旅行のまとめを、パソコンを駆使して楽しそうに制作する様子。2年生のマナー講座では、職業体験に向けての講師の先生の話真剣な面持ちで聞く様子を見て回りました。



健康づくり推進の取り組みの説明



3年生授業の様子

その後、睡眠を重視し、生活記録ノートを活用した、望ましい生活習慣による自己管理を養う同校の取り組みや、現在の生徒の不登校・生活状況についての説明を受けました。

産業厚生常任委員会  
管内視察

●5月24日

はやま認定こども園

ちぐさ、富本認定こども園と戸沢保育園が統合、4月1日より幼

保連携型「はやま認定こども園」として旧戸沢保育園に誕生しました。130人の園児が通っており、ランチを美味しくそうに頬張り、食後は元気に遊んでいました。



ランチタイムの様子

L字型に配置された園舎には、園庭先に広がる田んぼから風が入り、夏でも快適に過ごせる場所と感じました。一番力を入れているのが月に一度の防災訓練です。火事や地震の他にも不審者への対応



こども園からの説明

訓練。防犯カメラも3台増設し、「預かった子どもは元気で保護者へ直接帰す」と井上園長は話されました。

●トマト栽培農家(大槲)

本市の重点作物であるトマトの生産農家を視察。村山営農センター

トマト生産部の令和4年度計画は、栽培面積265a、出荷数量28万4500kg。視察農家では、22aに4棟のハウス、品種は、「りんか409」、「麗月」



栽培についての説明

を栽培し7月末頃から収穫のピークを迎えます。ハウスの中は暑く大変ですが、傷や割れに注意を払い丁寧に育てられています。

●中央育苗センター

センターの最大生産枚数は8万3500枚、令和4年度は7万6329枚で稼働率91・4%となっています。本市の作付面積はおよそ1630haその内、424ha(約1/4)をセンターは担っています。



育苗センターの説明

種初は薬剤を使わない温湯消毒処理で減農薬に寄与しています。はえぬき、雪若丸、つや姫の3種を扱い、土入れから覆土まで全自動播種装置で、7200枚/日作っています。

# 議会活動

## 市政・公明クラブ 管内視察

●5月19日

はじめに、徳良湖周辺の整備と運営について説明を受けました。そこでは、①徳良湖を中心とした観光、体験施設の整備状況について②現在の課題と今後の整備計画（展望）についてその後意見交換を行いました。

次に、周辺施設の指定管理者である「株式会社」の概要について説明を受け、運営上の課題などについて意見交

換を行いました。

次に、徳良湖周辺施設の利用状況について視察しました。花笠高原交流施設である全天候型広場土間付き体育館の概要について話を聞きました。また、オートキャンプ場とグリースカフェの運営状況について視察し説明を受けました。これから市の運営に大変参考になる視察でした。



屋内運動場視察の様子

## 改革クラブ 行政視察

●5月12・13日

ごみ処理と再生エネルギーによる持続可能な環境衛生行政を行う先進地の取り組みを視察しました。

北上市にある岩手中部広域行政組合中部クリーンセンターでは、広域化に至る経緯やメリットなどについて説明を受け、最新の焼却処理施設を見学しました。十和田市にある、生ごみからのバイオガスによる発電を行っている県南保全センター(株)

を訪れ、リサイクル事業における循環型の取り組みや、メタン菌による発酵を行う巨大なタンクなどの設備を視察しました。

次に、仙台市環境局廃棄物企画課より本市でも将来的に取り組む必要がある、製品プラスチックの一括回収、リサイクル化について説明を受け意見交換をしてみました。



バイオガス発電所の発酵タンク

## タブレット導入!!

村山市議会では、議会資料のペーパーレス化、議会情報や災害情報の共有をすとも、各種会議のオンライン化を目指し、令和2年2月からタブレット導入に関する視察や研修を重ね、令和4年6月定例会から議会用タブレット端末を導入しました。

6月定例会では、これまでと同様に紙の議案書や関係資料が用意され併用で運営されました。端末導入後は、市から議員への情報提

供や各種会議案内などをFAXからタブレットに変更されていますが、さらに完全ペーパーレス化に向けて積極的に取り組んでいきます。

また、災害などの非常時における相互情報交換手段の確立など、日常での幅広い活用方法を探究していきます。



議会だより編集委員会でもタブレットを活用

### 4月

- 4日 議会だより編集委員会
- 5日 山形広域炊飯施設オープニングセレモニー
- 6日 県市議会議長会定期総会
- 11日 議会だより編集委員会
- 12日 議会運営委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 県縦断駅伝競走大会結団式
- 17日 神町駐屯地創立60周年記念行事
- 19日 議会だより編集委員会  
市地区代表会議
- 20日 全員協議会  
総務文教常任委員会協議会  
産業厚生常任委員会協議会
- 21日 東北市議会議長会理事会・総会(書面会議)
- 24日 市消防大演習
- 25日 議会運営委員会
- 27日 全員協議会・本会議  
総務文教常任委員会協議会  
市身体障がい者福祉協会総会

### 5月

- 9日 タブレット検討部会
- 11日 県及び市町村長・議長会議(WEB会議)
- 12日 改革クラブ行政視察(～13日)
- 16日 総務文教常任委員会行政視察
- 17日 タブレット検討部会
- 18日 総務文教常任委員会協議会  
県議会農林水産常任委員会行政視察
- 19日 市民生委員児童委員協議会総会  
市政・公明クラブ行政視察
- 20日 全員協議会・議会運営委員会  
市商工会通常総代会
- 24日 産業厚生常任委員会管内視察
- 25日 全国市議会議長会定期総会  
各委員会合同会議
- 27日 春のバラまつりオープニングセレモニー
- 30日 議会運営委員会  
議会だより編集委員会

### 6月

- 3日 全員協議会・本会議・予算特別委員会
- 7日 一般質問  
総務文教常任委員会協議会
- 8日 一般質問
- 13日 予算特別委員会・会派代表者会議
- 14日 常任委員会  
総務文教常任委員会管内視察
- 15日 常任委員会
- 17日 常任委員長会・議会運営委員会
- 19日 筆供養
- 20日 全員協議会・予算特別委員会・本会議
- 21日 タブレット導入検討部会
- 23日 議会だより編集委員会
- 26日 全国各流居合道さくらんぼ大会  
2022ブルガリア・フェア
- 29日 議会だより編集委員会  
令和5年度重要事業要望(北村山地域振興局、県庁)

## 市民の声

### ～自然豊かな山の内～



井上 翔一 さん  
(大高根)

私の住んでいる山の内は、とても豊かな自然に囲まれています。水がとてもおいしく、季節ごとに移り変わる景色が魅力です。

冬は雪が多く大変ですが、春、秋はおいしい山菜やキノコなどがたくさん採れ、自然体験交流施設「やまぼと」ではさまざまなイベントが行われています。

幼少期から祖父母や地域の人が農作物を作る姿を見て、私もおいしい農作物を作りたいと思うようになりました。今は富並青柳農産(株)で農業の仕事をしています。まだまだ分からないことがたくさんありますが、多くの知識を身につけ、一日でも早く一人前になりたいと思っています。

今後は山の内で『一番おいしい農産物を生産する農家』になる。という目標に向かって一つ一つの作業に力を入れていきたいと思っています。地域の活動にも積極的に参加し、昨年山の内に嫁いでくれた妻と共に、山の内の自然や暮らしを守って行きたいと思っています。



農作業中のすがた



山の内の「大石」

#### 〈表紙写真〉

東沢バラ公園の「バラまつり2022」に合わせ、6月定例会においてバラ議会を実施致しました。

議員全員が、東沢バラ公園のバラを使用したコサージュを身につけて議会に臨みました。

村山市の観光名所、東沢バラ公園の積極的なPRにより、市内外から多くの来園を期待します。

【秋のバラまつり 2022】 9月中～下旬 (予定)

大人 600円 小中学生 300円

※村山市民 (要身分証) 幼児以下 無料



新品種【マイア】

#### あしがき

本格的な夏の到来により行楽シーズンとなります。お出かけの際には熱中症や感染症対策を徹底し、充実した夏をお過ごし下さい。

この度(公財)日本バラ会より新品種の命名権が贈呈され、名称をウクライナ語で平和を意味する「マイア」と命名されました。悲惨な現状にある、すべての地域に一日も早く平和な日常が訪れる事を願います。

(柴崎)



委員長  
副委員長  
委員

石澤 祐一  
菊池 貞好  
田中 正信  
阿部 正任  
高橋 卯任  
吉田 亮太  
柴崎 亮太